

2 自然観察会

富士山の自然と恵みに触れ、親しむことで、そのすばらしい自然環境を守っていく意識を高めていただくため、川と山の両方で自然観察会を実施しました。その様子を紹介します。

1 「富士山の自然と恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会

日 時：8月14日(日)9時30分から12時まで

場 所：柿田川公園(駿東郡清水町)

参加者：31家族 98名

案 内：(公財)柿田川みどりのトラスト、柿田川自然保護の会

内 容： 富士山からの恵みである湧き水で形成された柿田川に直接入って自然観察を行う、貴重な機会を設けることができました。

開会式で、案内役から「8月11日が、『山の日』として新たに祝日になったが、柿田川の水は富士山からやってきている」こと、「柿田川の生きものや植物に触れて豊かな自然を実感し、保全の気持ちを持ち続けてほしい」ことが説明されました。

川に入った後、親子で捕まえた生き物を水槽に集め、案内役から名前や生態の解説を受けました。

今回は、ウツセミカジカ、ホトケドジョウ、ミシマバイカモ、ヒンジモといった貴重な絶滅危惧種・準絶滅危惧種をはじめ、テナガエビ、ハグロトンボといった生きものを観察しました。(捕まえた生き物は、外来種のアメリカザリガニを除いて、すべて川に返しました。)



親子で一緒に、川の中の生き物を探しました。

2 「山の日制定記念」 富士山高鉢山自然観察会

日時：8月21日(日)10時15分から14時25分まで

場所：富士山自然休養林内 富士山高鉢山からブナ広場から西白塚駐車場

参加者：50名

案内：富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会

内容： 8月11日(木)は、新しく国民の祝日に制定された「山の日」です。また、今年は富士箱根伊豆国立公園が指定されてから、80周年の節目です。

これを記念して、富士山の1合目から2合目に当たる美しい森林帯をハイキングしながら、動植物の観察会を行いました。

モミ、カエデ、ブナなどの木々とのふれあいの中で、森と人とのかかわりや、素晴らしさを感じることができました。



シナノキの解説



豊かな緑に覆われた林内